

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0791000011		
法人名	株式会社エコ		
事業所名	グループホーム 優希の杜1階		
所在地	〒964-0866 福島県二本松市長命68-1 (電話) 0243-22-0197		
自己評価作成日	平成23年9月25日	評価結果市町村受理日	平成24年1月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20		
訪問調査日	平成23年11月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>①利用者様が入院された場合、利用者様の早期退院に向けて、御家族様や医療機関との連携と相談を密にする為、頻繁に見舞うようにしている。又利用者様が退居してからも安心して生活される様相談にのっている。</p> <p>②利用者様の体調に合わせて、軽い体操や風船バレーを行い、バランスの良い生活リズムを作る様にしている。</p> <p>③職員は、勤務している階以外の利用者様にも、声を掛け挨拶を行っている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>1、運営推進会議を積極的・効果的に活用していることが議事録からうかがわれる。例えば災害対策や避難訓練について委員から多くの意見や提案が出されており、火災の煙を吸い込まないようマスクや手ぬぐいを使用した訓練や2階の利用者にはマットレスを活用した避難訓練等委員の意見等を踏まえて実践している。また、訓練にも委員の積極的参加が得られている。</p> <p>2、地域包括支援センターと連携し、同法人運営の複数のグループホームの参加・協力を得て「介護者の集い」を行い、認知症に対する理解を深めるための講演や寸劇を行い地域貢献に努めている。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新しい理念を作り、業務日誌や室内に提示し、職員で共有・実践に心掛けている。	理念の文言を変更し簡潔に、わかりやすく表現したことで、職員はよく理解出来、共有しながら笑顔を絶やさず利用者本位のサービスの実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	震災にて、地域行事も控えられているが、地域のボランティアの方が訪問していただき交流を深めている。	地域の敬老会やお祭りに参加したり、地域や介護専門学校からのボランティアを受け入れたりして交流に努めている。また、地域包括支援センターと連携し「介護者の集い」を行い認知症に関する講演や寸劇で認知症の理解を深めるなどして、地域との繋がりを深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	包括支援センターや介護福祉専門学校へ行って講話し、認知症の理解や支援の方法を活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	利用者様の状況・行事報告・事故報告を行い、率直な意見を頂きサービスの向上に活かしている。	会議では委員から積極的な意見や助言が出され事業所運営に反映されており、効果的な会議となっている。委員からの助言により、避難訓練についてもいろいろな場面を想定した実践訓練が行われる等サービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高齢福祉課の方々に事務所の実情を話し協力を頂いている。	市町村担当者には事業所の実情や情報を積極的に提供し、協力を得ており、ケアサービス向上に向け連携が密に行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを全職員で共有。積極的に研修に参加し勉強会・スタッフ会議で伝達を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修会に参加し、職員全員に周知し共有しながら、身体拘束をしないケアに積極的に取り組んでいる。困難事例等についても職員全員で話し合い、身体拘束をしない方法を検討し実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを全職員で共有。研修に参加して勉強会で伝達を行い、虐待のないケアに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し、勉強会にて伝達を行い職員間で共有の知識を得るようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には、十分な説明を行っている。御家族様に疑問点がある場合は、いつでも言ってもらえる様対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様や御家族様が意見・要望を言いやすい雰囲気を作り、コミュニケーションを深めている。又、玄関に意見箱を設置したり退居時にアンケートを記入して頂き、運営に反映させている。	家族が意見や要望が述べやすい環境づくりに努め、退居される際には意見・要望をうかがうためのアンケートを行い、事業所運営やケアサービスの向上に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営等の意見はいつでも言える状況を設け、スタッフ会議や勉強会・親睦会等で意見や提案を出してもらい、反映に心掛けている。	会議では、職員の意見や要望が出しやすい状況づくりに心がけるとともに、それが十分反映されるよう努めている。震災直後の対応もスピーディになされ復旧が迅速に行われた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働基準法や労働安全衛生法に沿って労働条件・健康診断を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、出来るだけ多くの内外の研修に参加出来るように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加したり、安全衛生委員会でブロック内の事業所の職員と勉強会や講習会にて意見交換をしている。又法人内外の講習会に参加し質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人の言葉や行動を観察し、生活歴を検討しながら信頼関係が築ける様取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の意向を取り入れたケアプランの作成と話しやすいホームの雰囲気作りに取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の状況を把握し御本人・御家族様の意向に沿った支援に努めている。(外出・訪問理髪・訪問マッサージ等)		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様より助言を頂いたり、無理のない範囲で簡単な家事のお手伝いをして頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	誕生会やホームの行事に御家族様も参加して頂き、利用者様と楽しい時間を一緒に過ごして頂く事で共に支えていく関係作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	希望による電話の取り次ぎ、墓参り等御本人の関わってこられた事が続けていけるよう努めている。	誕生会に、馴染みの人が多数参加されるよう配慮したり、馴染みの人の弔問に出かけるなど利用者本人の関わりを大切にした支援がなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	特に共用スペースでの生活に配慮している。個人席の配置・レクリエーションの好み等利用者様同士がお互いに関わり支え合えるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も入院中の病院へ伺ったり、ホームへの来訪時には、近況を伺いながら必要に応じて相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や生活の様子から、利用者様の意向や要望の把握に努めている。	日常的な言動から感じ取ったり、触れ合いの中から利用者の意向を把握を行うとともに、センター方式の一部を活用し意向把握に努めている。	職員との馴染みの関係を活かして意向把握を行うことはもとより、利用者の生活史を知るために、家族の協力を得ながら、長年馴染んだ暮らし方等を知ることにより、本人本位の意向把握がより適切になされるものと思われる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話を通し利用者様の生活歴やこだわり等の把握に努めると共に、御家族様や面会者の話の中からも把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自分で出来る事は、御本人のペースで行えるよう見守り観察し可能性を導き出すことを心掛けている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常会話から利用者様の要望や御家族様の意向を踏まえてスタッフで話し合い作成している。	利用者の課題等を的確に把握し、ケース検討会議で十分話し合い介護計画を作成している。介護計画に基づき提供したサービス内容の記録を基に、モニタリングを行い、目標も含めた見直しを行うなどPDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルが適切に行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿って日々の様子をケース記録に記入し、ケアの実践や計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護給付券の利用等行政の制度を積極的に活用する様取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティア団体の訪問や四季折々の花の観賞等を楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にかかりつけ医を受診している。体調の変化による受診や専門医の受診も行い、御家族様と通院前後の情報の共有化に努めている。	かかりつけ医の受診支援は適切に行われており、家族同行による受診の際には、日常の状態を家族に伝え情報の共有も図られている。伝達方法を口頭から記録による方法を検討している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に訪問看護師に利用者様の健康上の気になる事を相談しアドバイスを頂いたり、適切な受診や看護が受けられる様取り組んでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院に向けて出来るだけ頻繁に見舞い安心して治療が出来る様にしている。また病院関係者との関係作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について、御本人や御家族様の希望の確認を取り、意向に沿ったチームケアに取り組んでいる。	看取り介護は行っていないが、指針を作成し家族等の意向を確認し、同意を得ている。事業所で対応できるケアについて体制を整え、医療機関との連携を図りながら取り組むための学習も行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時には、応急手当や初期対応の訓練に従い、迅速かつ的確な行動が取れる様取り組んでいる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のマニュアルと対策について震災の経験を活かせるよう全職員で話し合い取り組んでいる。又、年1回地域消防団の協力を頂いて避難訓練を行っている。	地域消防団や地域住民の協力を得ながら定期的な防火・避難訓練を行うとともに、毎月、夜間想定も含めて自主的訓練を行っている。避難方法についても2Fの利用者にはマットレスを使用する方法などを試み、訓練の回数を増やしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修を受講し伝達にて全職員が意識を持って取り組み誇りやプライバシーを損ねない様声掛けに配慮している。	プライバシー保護に関する法令順守の研修会等を行い職員間で共有し実践している。利用者に対する言動も人格を尊重した対応である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや希望を言いやすい雰囲気作りに取り組み選択して頂く場を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは決まっているが、利用者様の気持ちや体調に合わせてゆったりと過ごして頂けるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	散髪を希望される時は、訪問により支援している。清潔に心掛け行事や外出の際は、おしゃれを楽しんで頂けるよう努めている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	利用者様が希望されるメニューを取り入れたり、野菜の下準備など職員と一緒にしている。	気があった利用者同士がテーブルを囲むなどして食事を楽しんでいる。職員と一緒に声掛けをしながら食事を楽しめる場づくりにも配慮し支援している。季節の果物などを付け、バランスの良い食事内容である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を毎食記入し、一人ひとりの状態に応じてお粥やきざみ食等に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行い、一人ひとりに合わせた口腔ケアに取り組んでいる。夕食後は毎日洗剤にて支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行い排泄リズムの把握に努めている。一人ひとりに合わせてトイレでの排泄を支援している。	布パンツ、リハビリパンツを利用しており、チェック表を作成し排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。便秘がちの利用者には特別にカレンダーを活用し確認するなどトイレ排泄を促すケアに留意している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに摂って頂いたり、牛乳やヨーグルトを食べて頂いている。又出来るだけ負担なく身体を動かして頂いているが、下剤の内服で調整している利用者様もおられる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日や時間等利用者様の希望や体調に合わせて対応している。	入浴時間帯は自由であり、利用者は好みの時間に週3回、入浴している。入浴剤を入れて変化をつけながら楽しい入浴に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	家族様の承諾を得て天気の良い日には、布団を干したり定期的リネン交換を行い、一人ひとりの生活に合わせて安眠出来る様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様が処方されている薬の情報には必ず目を通し、正しく服薬支援が出来る様取り組んでいる。又症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物や外気浴のほか好きなテレビ番組の声掛けを支援している。又、年間の行事等で気分転換されたり、行事食を楽しまれている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	放射能にて散歩や外気浴は少ないが、希望時は対応している。墓参りはご家族様の協力を頂いて対応している。	3・11の大震災後、散歩は少ないが気分転換を図るため車を利用し、紅葉狩りやドライブインでの外食や事業所の空き地での芋煮会などを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持希望の利用者様は、一人ひとりの力量に応じて御家族様と相談しながら支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人の希望でいつでも電話が出来る安心感を大切に取組んでいる。又、耳が遠く疎通が難しい利用者様には、職員が代わって対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温室時計を確認しながら室温を調整している。又職員の声やテレビの音量に注意し、花や壁飾りなどで季節感を出し居心地の良い空間作りを工夫している。	玄関には季節の花が、居間・食堂には絵・壁飾りや交流会の写真が飾られ季節感が感じられ、居心地良い空間作りがなされている。また、食堂では、個別ケアができるよう机、椅子の配置がされるなど、安心・安全を考慮した工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外ベンチで寛いだり利用者様に合わせた席順を設定しているが、その時々に応じ楽しく利用者様同士で過ごして頂ける様支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている	利用者様の思い出の写真を飾ったり、ご遺影を持ち込まれる等その人らしく暮せるよう配慮している。又車椅子使用の利用者様のトイレのアコーディオンカーテンをスペース拡張と安全性から承諾を得て外している。	居室では、利用者の馴染みのものが使用されており、家族や思い出の写真が飾られるなど落ち着いて、安心・安全にその人らしく生活できよう配慮がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	承諾を得た上で、自分の部屋が一目で分かるように写真と名前を付け、混乱なく暮せる様にしている。		